

長崎で学び 世界に飛翔する

長崎大学の長年の夢であった人文社会科学系学部の設置が、ほぼ決まりました。文部科学省の大学設置審議会を経て10月末には正式認可をいただき、来年4月から学生を受け入れます。新学部の名称は「多文化社会学部」。まさに多文化の^{るつほ}坩堝である国際社会で活躍できる文系グローバル人材の育成を目指します。しかも、破格の英語力を備えた、現場に強い、個性際立つ、長崎大学ならではのグローバル人材です。

高い目標を達成するために、入試にも、カリキュラムにも、学生指導にも、これまでの国立大学の常識をこえる新しいチャレンジを満載した学部です。

多様性の時代。通り一遍の知識を英語で語れるだけでは、国際社会で尊敬されません。生まれ育ち、あるいは学んだ土地のこと、愛する母国のことを通して、世界を語ることでできる専門家人材こそが、存在感を発揮できるのです。地域を掘り下げることで逆に世界が見えて

くる。そんな時代なのです。

この国の最西端にあって海を隔てて大陸と向き合う長崎。そこには、江戸時代の出島以来のオランダや中国との交流、幕末に全国から集結した若き志士たちの志、原爆に^{たお}斃れた先人たちの無念など、他にはない大切な記憶があります。そして、長崎大学は、熱帯医学研究

所の半世紀にわたる蓄積を経て、いま、地球人類の持続的発展のカギを握るアフリカ大陸で存在感を発揮し始めています。

そのような個性ある文化、歴史、地理、国際関係と真正面から向き合う学問が人文社会学です。「多文化社会学部」は、長崎の窓を通して世界を理解し、その上で日本を再考します。世界を理解するためのキーワードは、中国、アフリカ、そしてオランダです。

美しい街“長崎”で学び、個性際立つグローバル人材として世界へ飛翔する。そんな志に燃えた若者たちを、「多文化社会学部」は待っています。

美しい街“長崎”で学び、個性際立つグローバル人材として世界へ飛翔する。そんな志に燃えた若者たちを、「多文化社会学部」は待っています。



長崎大学長 片峰 茂

CONTENTS

長崎大学広報誌
【チョーホー】
Choho Vol.44

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。

学長室だより	長崎で学び世界に飛翔する	1
特集	大学の子どもプログラム	2
TOPICS 1	アルツハイマー病の新しい治療法に道筋	9
TOPICS 2	グローバルリーダープログラム始動	11
TOPICS 3	一周年を迎えた長崎創楽堂	13
大学はわたしの仕事場	中村桂子准教授	15
グラバー 図譜	トビエイ	17
温故知新	ゲストハウス	19
NEWS	平成26年4月 多文化社会学部新設 予定	21
Information	平成25年度 オープンキャンパス	25
	長崎大学「通」クイズ	26
	編集後記	26

表紙のはなし

水産学部の鴻洋祭のひとつ。学部棟の前におめみえしたシャボン玉体験コーナーには、子どもたちが集まって大はしゃぎ。もっと大きなシャボン玉を作ろう、と学生もいっしょにチャレンジしていました。

